

【第1弾】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 東秩父村独自支援施策一覧

支援

事業費総額 **24,752千円**

● 事業所への支援

【11,000千円】

◇ 中小企業・個人事業主支援

経営上の影響を受けている村内中小企業・個人事業主の事業継続や事業再開に向けた取組を支援。

● 日常生活への支援

【13,752千円】

◇ 地域応援商品券発行事業 (11,696千円)

村内の消費拡大及び中小企業等の景気回復のため、地域応援商品券を発行する。

◇ ひとり親世帯負担軽減臨時特別給付金事業 (540千円)

ひとり親世帯に対する生活支援のため、給付金を支給し、経済的負担を軽減する。対象世帯に対して、3万円を支給。

◇ 単身高齢者等への配食サービス拡充 (1,516千円)

単身高齢者、高齢者世帯、その他買い物に行けないなど必要と認める方に、平日の昼食を配食することにより、外出自粛をしている高齢者の健康状態の確認及び見守り活動を支援する。

備え

事業費総額 **35,919千円**

● 避難体制の整備

【23,613千円】

◇ 避難所整備 (15,913千円)

避難所における運営実施のため、ネットワーク回線整備及び備品等の備蓄を実施。

◇ タブレット端末の一元配信 (7,700千円)

音声告知システム及びタブレット配信システムを一元化し、迅速な情報発信を実施する。

● 施設感染症対策

【12,306千円】

◇ 公共施設全般 (1,396千円)

・感染防止対策物品
アルコール消毒液や飛沫防止パーテーション、ハンドソープなどの消耗品購入。

◇ 役場 (6,291千円)

・役場庁舎フロア空調改修工事
事務室内の換気能力向上による感染機会削減。

◇ 保健センター (4,619千円)

・面接室改修工事
子育てや育児等の相談環境を改善し、換気能力向上等を図る。

投資

事業費総額 **16,166千円**

● 小中学校デジタル化の推進

【16,166千円】

◇ 小中学校家庭学習支援事業 (9,966千円)

学校の臨時休業等の期間中も切れ目のない学習環境を提供するため、各家庭の通信環境整備及びオンライン学習を支援

◇ ICT整備 (6,200千円)

小中学校児童生徒1人1台コンピュータを実現し、オンライン事業等に活用する。

【第2弾】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 東秩父村独自支援施策一覧

支援

事業費総額 **59,563千円**

● 事業所への支援 【28,270千円】

- ◇ 中小企業・個人事業主支援 (22,000千円)
経営上の影響を受けている村内中小企業・個人事業主の事業継続や再開に向けた取組を支援。
- ◇ 介護事業所支援 (2,360千円)
村内の介護事業所に対し、今後の介護体制を維持及び確保を支援。
- ◇ 公共交通事業所支援 (3,910千円)
乗降客数の減少が続く、路線バス及び空白地有償運送事業者への支援。

● 日常生活への支援 【27,261千円】

- ◇ 地域応援商品券発行 (16,782千円)
日常生活必需品の購入支援などへの支援とともに地域経済好循環への寄与。(第一弾拡充)
- ◇ 水道・浄化槽使用料等減免 (10,479千円)
自粛要請等により自宅で過ごす時間が増加し、水道・浄化槽の使用料への負担軽減を支援。

● 若者・新生児への支援【4,032千円】

- ◇ 小中学生への支援 (635千円)
自宅学習機会増に伴い、教材等の購入費を支援（図書カード配布）
- ◇ 高校生～24歳への支援 (2,897千円)
接触機会削減や路線バスでのキャッシュレス決済の促進を支援。
- ◇ 新生児への支援 (500千円)
令和2年4月28日以降に出生した(予定含)新生児に対して10万円を給付。

備え

事業費総額 **68,718千円**

● 避難体制の整備

【41,008千円】

- ◇ 避難所整備 (9,108千円)
コロナ禍における避難所を整備し、有事の際においても安心して避難所運営を構築。
- ◇ 屋外スピーカー改修工事 (31,900千円)
在宅避難や分散避難が推奨される中で、正確な情報を早期かつ確実に伝達し、より強固な防災体制を構築。

● 施設感染症対策

【27,710千円】

- ◇ 役場 (1,925千円)
施設内の感染予防対策として、検温器やアルコール消毒液など必要物品を設置。
- ◇ 学校・子育て施設 (14,935千円)
生徒・園児の安心・安全な生活を確保するため、アルコール消毒液等の必要物品の整備に加え、接触機会削減を目的に、水道蛇口やトイレ等の一部タッチレス化を推進。
- ◇ 道の駅 (10,850千円)
不特定多数のお客様が見える道の駅において、検温器や接触機会削減工事等を実施。

投資

事業費総額 **16,609千円**

● 行政デジタル化の推進

【3,193千円】

- ◇ ペーパーレス及びWEB会議の推進
新しい生活様式のもと、非接触における行政運営が求められており、感染拡大等を想定したテレワーク等を通じ、行政コスト削減にも資する。

● 小中学校デジタル化の推進

【4,650千円】

- ◇ ICT整備
オンライン学習推進のため、教職員用の環境整備を実施。

● 新しい生活様式に対応した道の駅整備

【8,766千円】

- ◇ 空間デザイン (2,044千円)
村の観光拠点である道の駅において、今後の新しい生活様式に対応する空間を検討し、今後の受け入れ体制への基礎とする。
- ◇ 予約・レジシステムの整備 (3,969千円)
非接触対応のレジシステムを導入し、キャッシュレス決済の促進や感染症対策を実施する。
- ◇ HP改修 (2,753千円)
WEB上での予約などにより、業務効率化を図るとともに、感染症収束時を想定した受け入れ体制を整備する。